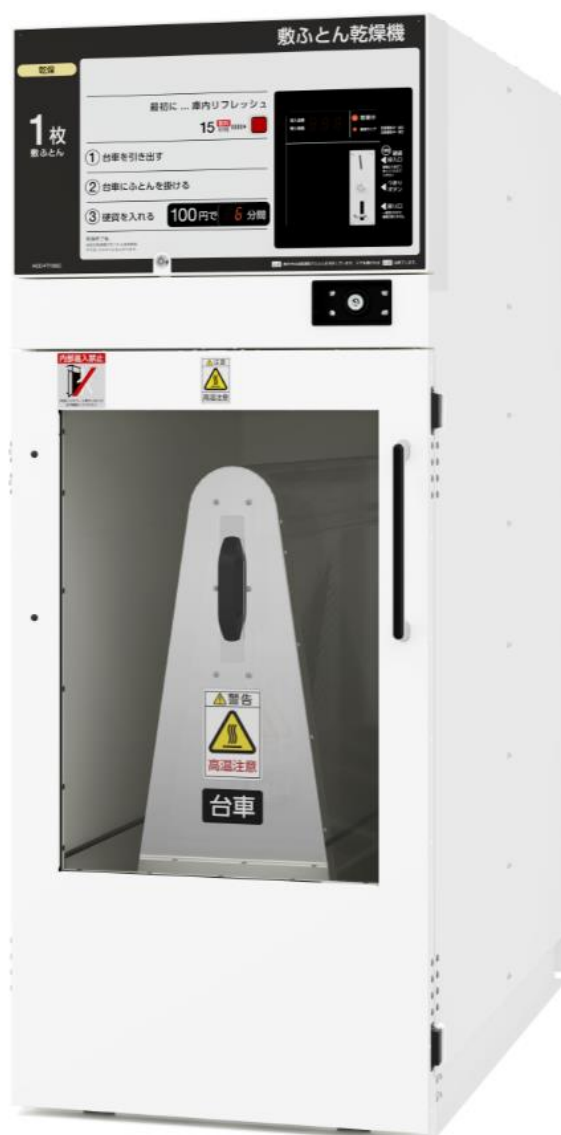


工事仕様書

商品：コイン式敷ふとん乾燥機

品番：HCD-F T 1 0 G C

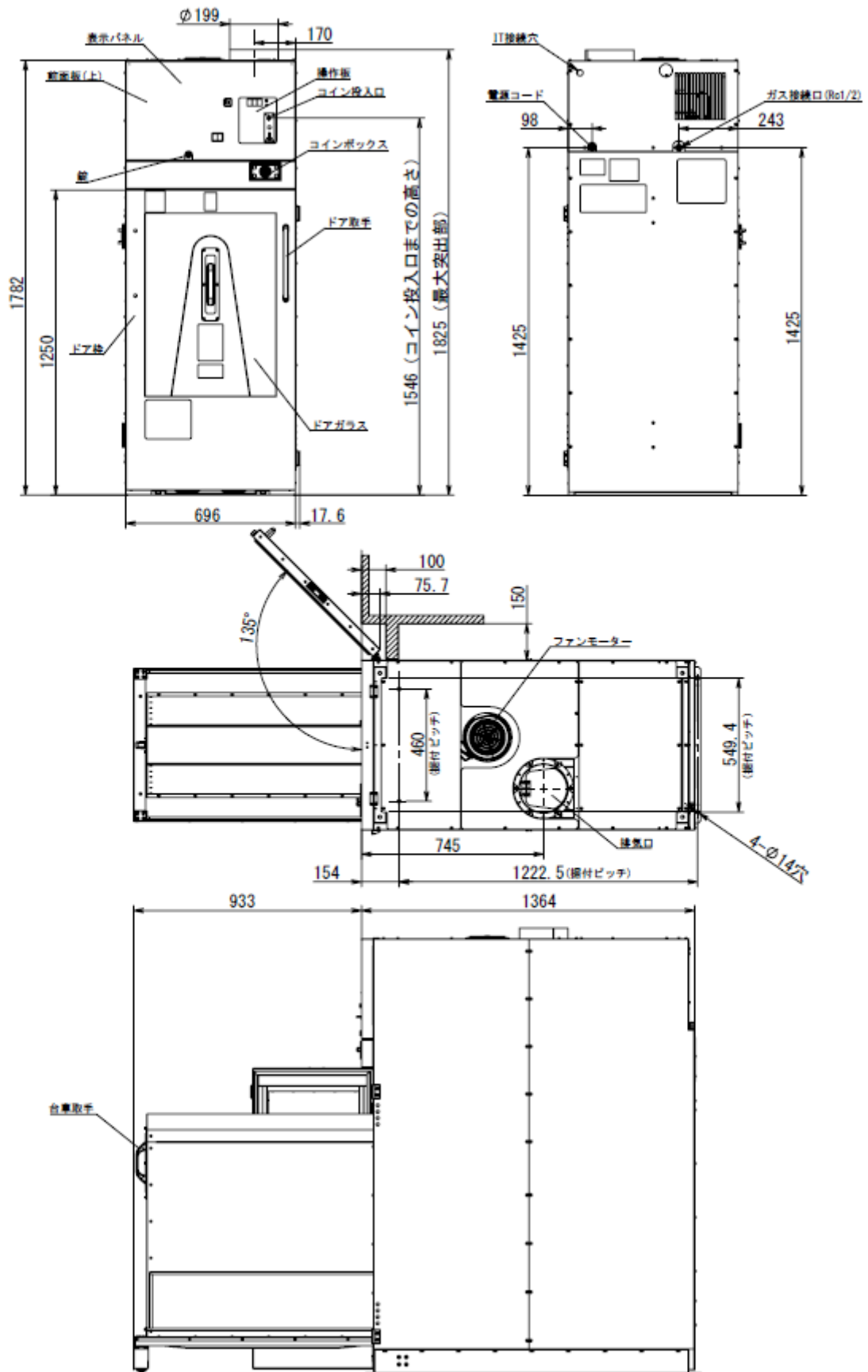


仕様

	HCD-FT10GC
電源	三相200V 50/60Hz
乾燥容量	シングル敷ふとん 1枚
定格消費電力	1300W
モーター出力 (定格出力)	1.5kW
熱源	LPガス
ガス消費量	20.5kW
点火方式	排気運転10秒後自動点火、熱電対方式
制御	<ul style="list-style-type: none">●試運転モード機能●運転時間可変設定数(1~30分/100円)●100円硬貨専用●運転時間最大2時間まで積算式●硬貨投入により運転開始。最初は投入金額を、続いて運転時間を表示。その後1分単位で運転残り時間を減数表示。●不正硬貨、変形硬貨選別機能●マイクロスイッチ式コインセンサー(コイン投入防止ブロッカー付、糸吊防止用コットンチェッカー付)●クールダウン「cd」表示。クールダウンは、乾燥中に出口(乾燥)温度が設定温度まで上がった場合のみ、乾燥の後、自動的に行い、約50度で運転終了●庫内入口または出口(乾燥)温度設定到達後、バーナーON/OFF制御●ソフトリンクル機能●停電復帰時は定期的に記憶した時間に戻ります。●停電保証機能で積算カウンターの値を記憶します。●運転終了ブザー付き●音声ガイダンス機能
コイン収納枚数	100円硬貨 約500枚
最大風量	14.5m ³ /min
接続排気筒	口径・・・内径φ200mm 配管許容長さ・・・直管相当長さ20m以内
ガス接続口	Rc 1/2 (15A)
最大外形寸法	幅 696mm X 奥行 1389mm X 高さ 1825mm
製品質量	約400kg
電源コード長さ	約2.0m
付属部品	<ul style="list-style-type: none">●前面板用キー 2個●フィルター用キー 2個●コインボックス用キー 2個

※本仕様ならびにデザインは改良のため、予告なく変更することがあります。

各部の名称と外形寸法



据付

乾燥機の性能を十分に発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、据え付け、電気工事、ガス配管、及び給排気工事はそれぞれ専門の工事業者が行ってください。

★必ず据え付けの前に次の注意事項をよくお読みいただき、正しく工事を行ってください。

★ここに示した注意事項は

使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った据付工事を行うと生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が傷害を負う場合または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意すべき内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は発火注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

危険

設置してはいけない場所

乾燥機はガソリン、ベンジンなどの引火性の危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。爆発、火災がおこる可能性があります。



禁 止

設置した場所は十分に換気する

設置室の状況に応じた給気口および排気筒を設けて十分な換気を行ってください。室内への燃焼排ガスの充満や、酸素不足によって生じるガスの不完全燃焼や酸欠事故が生じるおそれがあります。



換気実施

排気は必ず排気筒で屋外へ排出する

屋内への排気はしないでください。排気は排気筒によって屋外へ必ず排出してください。室内への燃焼排ガスの流出は酸欠事故や火災などを生じるおそれがあります。



屋外排気

湿気の多い場所への設置はしない

湿気の多い場所には据え付けしないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。



湿気禁止

警告

据付工事を行う方へ

- ・製品を安全に正しく使用していただくために本編の指示に従って工事を行ってください。なお詳細は一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」をご参照ください。
- ・据付工事に際しては当該地域の条例および規定によるほか、本編をご参照ください。
- ・据付工事終了後に取扱説明書に従って取り扱い上の注意事項をオーナーの方に説明してください。



強 制

電源仕様を確認する

工事の際には銘板を確認して、使用する電源が適合しているか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。



電 源 仕 様
確 認

屋外には設置しない

この乾燥機は室内用です。必ず室内に設置してください。屋外で風雨にさらされる場所に置くと感電や故障の原因となるばかりかガス燃焼が不安定になり、火災がおこるおそれがあります。



水 場 で の
使 用 禁 止

アースは確実に取り付ける

本乾燥機専用のアースを必ず設けてください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させます。
工事は「接地工事について」の指示に従ってください。



ア ー ス
線 接 続

ブレーカーは必ず取りつける

本機を据え付けるときは、過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。故障して漏電、過電流が流れたとき、感電火災のおそれがあります。



漏 電 遮 断 器
設 置

ガス仕様を確認する

工事の際には、乾燥機後面のガス仕様表示板を確認して、ご使用のガスの種類と合っているか確かめてください。ガス仕様が異なっているとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。



ガ ス 仕 様
確 認

乾燥機にガス配管を接続するときは

ガス配管を締め過ぎないでください。ガス配管を締め過ぎると各接続部に無理な力が掛かり、破損やガス漏れ事故に原因になります。
また、ガス管出口と製品との接続は、必ず金属製のガス用フレキチューブまたはガス会社指定の同等品で接続してください。



強 制

給気口の形状は

給気口の大きさは必ず乾燥機の排気口内径φ20cmに相当する断面積、約315cm²以上としてください。
この形状以下の給気口の場合、室内へ十分な酸素供給が行われず、ガスの不完全燃焼や酸欠事故が生じるおそれがあります。複数台設置するときはおのおの乾燥機に必要な断面積の合計以上としてください。



給 気 口
確 認

排気筒の形状は

排気筒は、必ず排気口内径φ20cmに相当する断面積315cm²以上で直管相当長さが20m以内のものを使用してください。
径が小さすぎたり、長すぎるものを使用すると十分に排気できず乾燥が悪くなったりトラブルの原因となります。



排 気 筒 確 認

【使用禁止材料】アルミジャバラ排気筒は使用しないでください。

警告

腐食性のガスやほこりのたちやすい場所に設置しない

理容院、美容院、およびクリーニング店などのような、アンモニア、塩素、ヘアスプレー、クリーニング溶剤を使用する場所や布または綿などのほこりの多い場所には設置しないでください。

ガス機器の損傷による不完全燃焼の原因となります。

(業務用ガス機器の設置基準および実務指針)



禁 止

注意

乾燥機の設置の際は

保守、点検などを容易にし、安全性、配管などを考慮して、乾燥機と建築物の部分等の隔離距離は本編の配置方法に従ってください。



離 隔 距 離
保 持

周囲に可燃物を近づけない

火災事故防止のため乾燥機の上部、近辺には可燃物を置かないでください。特に排気口の周囲 60 cm、吹出方向 60 cm の範囲内には可燃物が無いようにしてください。また店内では乾燥機の上に衣類、新聞紙などの可燃物を置けないように不燃材のたれ壁、仕切りなどを設けてください。



禁 止

乾燥機の後ろ側に入るときは

機器の後ろ側には高温部があります。これらに触れてけが、やけどをしないように注意してください。また、店内では仕切りなどを設けて、お客さま（とくに幼児）が機器の後ろ側などに入れないようにしてください。



禁 止

電気配線とガス管は近づけない

電気配線はガス供給管から少なくとも 15 cm 以上離してください。また、電気配線は金属管またはフレキシブルコンジットなどで保護してください。万一の爆発事故を防止しています。



禁 止

プロパンガスの場合

乾燥機接続部のガス入口圧力は 2.8 kPa になるように接続してください。

また、使用 LP ガスの種類、容量、本数供給方法及び主管の形状は「ガス配管」の指示に従ってください。これらが適切でないとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。



ガス圧確認

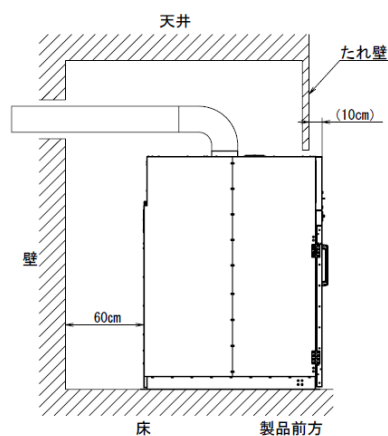
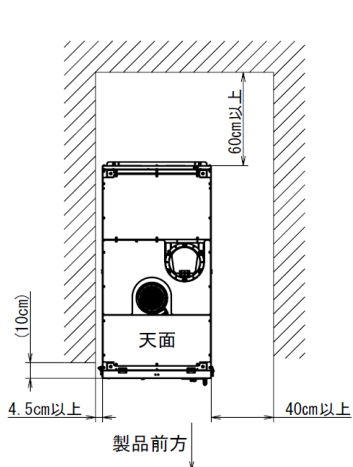
警告

- 製品を安全に使用していただくために本編をよくお読みになり、指示に従って工事を行ってください。なお、この資料は一般財団法人日本ガス機器検査協会発行の「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」を基に作成しています。詳細はその資料をご参照ください。
- 製品の設置については地域により消防署への届け出が必要な場合があります。各市町村の消防署にご確認ください。
- 据付け工事に際しては当該地域の条例及び規定〔騒音・地震（転倒防止）など〕によるほか本編をご参照ください。
- 据付け工事終了後に取扱説明書に従って、取り扱い上の注意事項をオーナーの方に説明してください。

1 配置

注意

保守、点検などを容易にし、安全性、配管、配線などを考慮して、乾燥機と建築物の離隔距離は下図に従ってください。



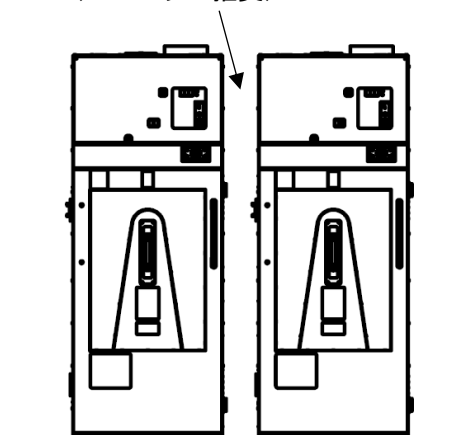
乾燥機の上に可燃物を置けないよう、不燃材のたれ壁、仕切りなどを設けてください。乾燥機の上に可燃物を置くと、火災になるおそれがあります。たれ壁は機器天面のネジが外せる位置に設けてください。

（側面の空間寸法は図に示す状態と左右反対でもよい。）

ご注意

- 乾燥機を2台以上並べて使用する場合、据え付け後、ドアの開閉がスムーズに行えるように側面の間隔をとってください。
- はめ込みによる配置により、側面に点検用通路を設けない場合は裏面を点検するための入口を別に設けてください。逆に裏面を点検する入口を設けることができない場合は、乾燥機の少なくとも一方に裏面点検用通路（40 cm以上）を設けてください。
- 乾燥機は燃焼排ガス、放射熱などによってガスメーター、ガス配管、電気設備等に悪影響を与えない位置に設置してください。

ドアがスムーズに開閉できる間隔
（150 mm以上推奨）



危険

乾燥機は、ガソリン、ベンジンなどの引火性の危険物を貯蔵または取り扱う場所には設置しないでください。爆発、火災がおこるおそれがあります。

⚠警告

この乾燥機は室内用です。必ず室内に設置してください。屋外で風雨にさらされる場所に置くと感電や故障の原因となります。

⚠注意

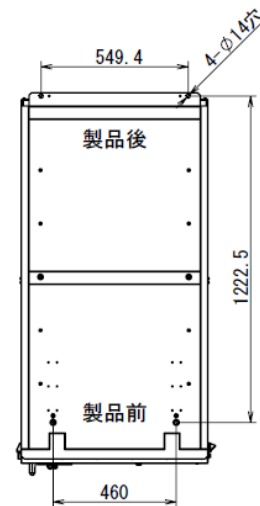
- 火災事故防止のため乾燥機の上部、近辺には可燃物を置かないでください。また、店内では乾燥機の上に衣類、新聞紙などの可燃物を置けないように不燃材のたれ壁、仕切りなどを設けてください。
- 機器の後ろ側にはモーター、プーリーなどの回転物あるいはバーナー、排気筒などの高温部があります。これらに触れかけ、やけどをしないように注意してください。また、店内では仕切りなどを設けて、お客さま（特に幼児）が機器の後ろ側に入れないようにしてください。

ご注意

周囲温度が高い場所に設置すると故障の原因になります。年間を通して 40℃以下の環境が保たれる場所に設置してください。

2 基礎工事と据え付け

- 地震、その他の振動、衝撃により容易に転倒し破損しないようにしっかりした床面に設置し、M10アンカーボルトで床面に固定してください。（アンカーボルトは4ヶ所です）
- 水平（左右、前後方向に）設置し、設置面にがたつきのないように行ってください。
- 台車を一旦抜き出し、M10アンカーボルトで固定してください。作業終了後、台車を元に戻してください。



3 電気配線工事と接地工事

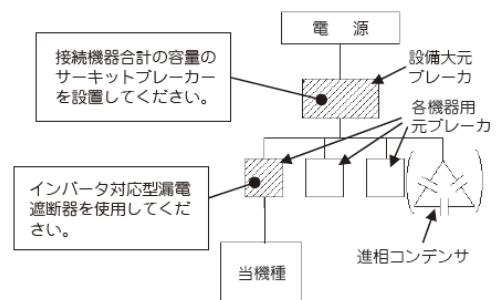
① 電気配線工事

- 電気工事は電気工事士の資格を有する者が行わなければならないことが法令で義務付けられています。専門の工事業者に依頼して工事を行ってください。
- 電源は必ず本機専用として下表の容量のものを設けてください。
- 土間、コンクリート床、洗い場など湿気や水気のある場所に据え付けるときは漏電遮断器の取り付けが法令で義務付けられています。
- 設備大元に漏電遮断器を設置している場合の感度電流は「30mA X 設置台数」以上となるようにしてください。

ブレーカー	漏電遮断機
15A 用ブレーカー	感度電流 30mA 動作時間 0.1 秒以内

＜ご注意＞

当機種はインバータを使用しています。
以下の内容に注意して設置してください。



インバータ使用機種に進相コンデンサは取付けしないでください。

⚠警告

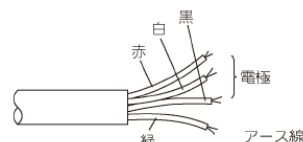
- 本機を据え付けるときは過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。故障して、漏電、過電流が流れたとき感電、火災のおそれがあります。
- 工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。

⚠注意

電気配線はガス供給管から少なくとも15cmは離してください。また、電気配線は金属管またはフレキシブルコンジットなどで保護してください。万一の爆発事故を防止します。

② 接地工事

- アース工事は電源電線の4芯キャプタイヤケーブルの緑色のアース線をアース端子に接続して、本機単独のD種設置工事（第3種接地工事）を行ってください。



(注)アースについては、D種接地工事（第3種接地工事）が法規で義務づけられています。

⚠警告

専門の工事業者に依頼し、必ず本機専用のD種接地工事（第3種接地工事）を行ってください。万一の感電や落雷時における事故防止や静電気による引火爆発事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させるためです。

ただし、次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- ・水道管：配管の途中に塩化ビニール管のある場合は、アースされません。
- ・ガス管：爆発や引火の危険があります。
- ・電話線のアースや避雷針：落雷のとき大きな電流が流れて危険です。

4 ガス配管

- ガス配管は金属管、金属フレキシブルホース、LPガス燃焼器継手付ホースまたは機器接続ガス栓を用いて、容易に外せないように接続してください。
- 接続具はガス用接続材料として認められたものをご使用ください。
- 金属可とう管、強化ガスホース、金属フレキシブルホース及びLPガス燃焼器接続用継手付ホースは乾燥機を入れ替える時には、同時に取り換えてください。
- 強化ガスホース、LPガス燃焼器接続用継手付ホースは、火災や放射熱等により高温になる場所、油脂、溶剤等が付着するおそれのある場所、ホースに異常な力が加わる場所には使用しないでください。

⚠警告

- 工事の際には乾燥機後面のガス仕様表示板を確認して、ご使用のガスの種類とあっているか確かめてください。ガス仕様が異なっているとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。
- 乾燥機本体にエルボ、ソケットなどを介して配管を行う場合は、ガス配管を締め過ぎないでください。ガス配管を締め過ぎると、各接続部に無理な力がかかり、破損やガス漏れ事故に原因になります。また、ガス管出口と製品との接続は必ず金属製のガス用フレキチューブ、またはガス会社指定の同等品で接続してください。

- 本乾燥機1台あたりのガス消費量は
20.5kW
- 乾燥機の保守・点検が容易にできるよう、操作しやすいところに元コックを設けてください。
- 接続工事は液化石油ガス設備士が行ってください。
- ガスポンベの設置、ガス配管はLPガス法や取り扱い基準などの法的な規定に従って工事を行ってください。

△注意

ガスを適切な状態で燃焼させるために

- 乾燥機接続部のガス入口圧力は2.8kPaになるように接続してください。
 - ガスはLPガス法による **い号** または **ろ号** 液化石油ガスを用い、容器は50kgボンベを使用してください。ただし、この容器からは、平均14.0kW程度しかガスを取り出すことができませんので、本機1台を運転するのに2本以上の容器を連結してください。
 - 供給方法は低圧一般供給法としてください。これは調整器1個を用いて、容器内圧力から直ちに低圧2.8kPaまで減圧して供給する方法です。
 - 乾燥機の近くまでガスを導く主管は、20A(3/4B)以上のガス管を使ってください。なお乾燥機を2台以上並べて使用する場合は、台数に応じた太さの配管にしてください。
- これらが適正でないとガスが異常燃焼をおこし、火災や一酸化炭素中毒がおこるおそれがあります。

5 給気口と排気筒

△危険

設置室の状況に応じた給気口及び排気筒を設けて十分な換気を行ってください。室内への燃焼排ガスの充満や酸素不足によって、ガスの不完全燃焼や酸欠事故が生じるおそれがあります。排気は必ず屋外で排気してください。給排気設備を設置するにあたって、形状、設置方法、乾燥機との関係及び周囲の隣家への配慮などについては下記の方法を参照してください。

① 給気口

- 室内の空気の浄化、熱の排除、酸素の供給などのため必ず給気口を設けてください。
- 給気口は外気に面した壁に設けてください。ただし、給気経路が確保されている場合は隣室側の壁に設けてもかまいません。
- 給気口の位置は炎の立ち消えなど、乾燥機への悪影響のない場所で、室内がよく換気され、さらに排気筒トップからの排気ガスが流入しない位置に設けてください。
- 給気口は雪、雨水の流入、またねずみ、ほこり、その他有害なものの侵入に対応するため水切り、又は防虫網等を設けてください。

△警告

- 給気口の大きさは必ず乾燥機の排気口径φ20cmに相当する断面積、約315cm²以上としてください。この形状以下の給気口の場合、室内へ十分な酸素供給が行われず、ガスの不完全燃焼や酸欠事故が生じるおそれがあります。複数台設置するときは、おのおの乾燥機に必要な断面積の合計以上としてください。
 - 防火ダンパーは絶対に取り付けしないでください。ガス機器に直結した排気筒（建築基準法でいう煙突）に防火ダンパーを取り付けると、防火ダンパー等の作動（閉塞等）により、重大なガス事故につながります。防火ダンパーの取り付けは法令で禁止されています。
- （建設省告示第1826号第4第2号（昭和45年））

② 排気筒

- 乾燥機の排気中には水蒸気、炭酸ガス、糸くず等を含んでいます。必ず排気筒によって屋外へ排出してください。
- 屋内の排気筒材料（直管、曲り管等）、および屋外の排気筒材料（直管、曲り管、防鳥構造を含む排気筒トップ、排気筒固定金具、抜け出し防止金具）はSUS340またはこれと同等以上のものまたはチタンの材料を使用してください。
- アルミジャバラ排気筒は使用しないでください。（耐久性がなく破損のおそれがあります。）
- 排気筒は点検、維持が容易にでき、修理や取り換えに必要な範囲の隠ぺい部材の取り外しができるように配慮して設置してください。
- 排気筒長さじゃ途中の折れ曲りをできるだけ少なくして、計算による許容長さが20m以内になるようにしてください。
- 排気筒が長く、排気風量が不足し、強制排気システムを設ける場合は、法令に従って施工するよう専門業者にご相談ください。
- エルボの使用は3ヶ所以内にし、できるだけ曲げRの大きいものを使用してください。
- 排気筒は必ず排気口の外側に挿入してください。また、ネジ止めで固定する場合、ネジ位置は排気口ダンパーの開閉の妨げにならないところにしてください。排気口ダンパーの開閉ができないと事故やトラブルの原因になります。
- 排気筒の壁貫通部は、排気筒と壁との間に燃焼排ガスが屋内に流れ込む隙間のないように処置してください。

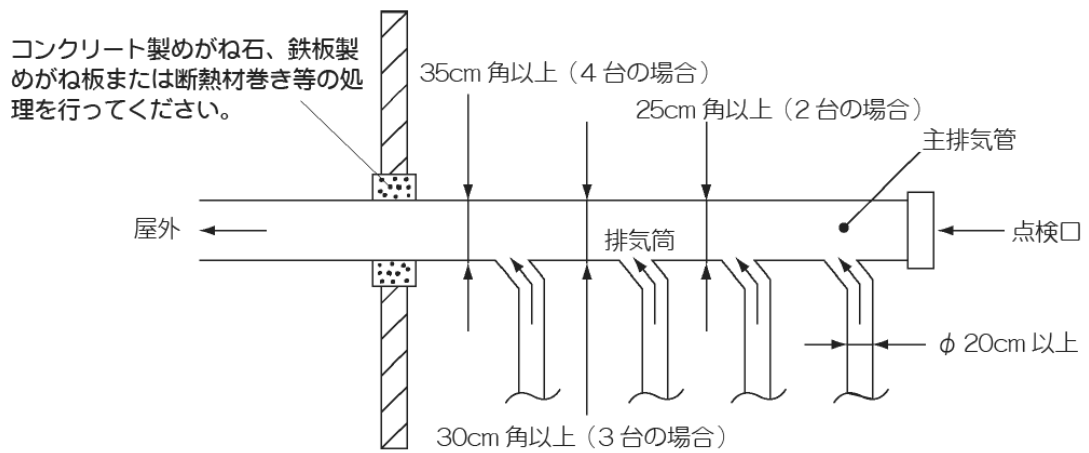
●本体との接続および排気筒同士の接続は自重、風圧積雪荷重及び振動などに十分耐え、さらに排気筒を構成する接続部が容易に外れないよう、専用リベット専用ボルトなどで堅固に取り付け、コーキングシール材充填または耐熱テープを巻き付けてください。

●排気筒の勾配については、排気筒を屋外に向かって先下がり勾配とし、凝縮水を屋外に導くようにするほか、凝縮水はたまるような垂れ下がり部を作らないように設置してください。

⚠警告

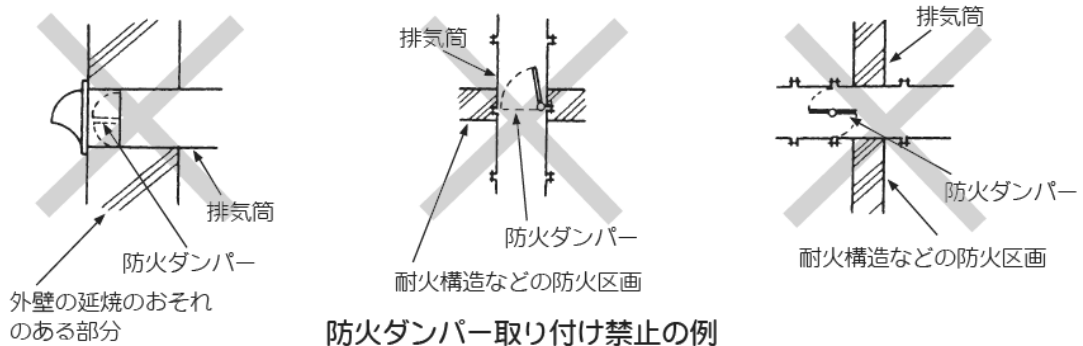
●排気筒は必ず乾燥機の排気口径φ20 cmに相当する断面積、約315 cm²以上で直管相当長さが20m以内のものを使用してください。径が小さすぎたり、長すぎる排気筒を使用すると十分に排気できず、乾燥が悪くなったり、トラブルの原因になります。

●2台以上の乾燥機の排気筒を共同で集合し設ける場合、下図のように行ってください。



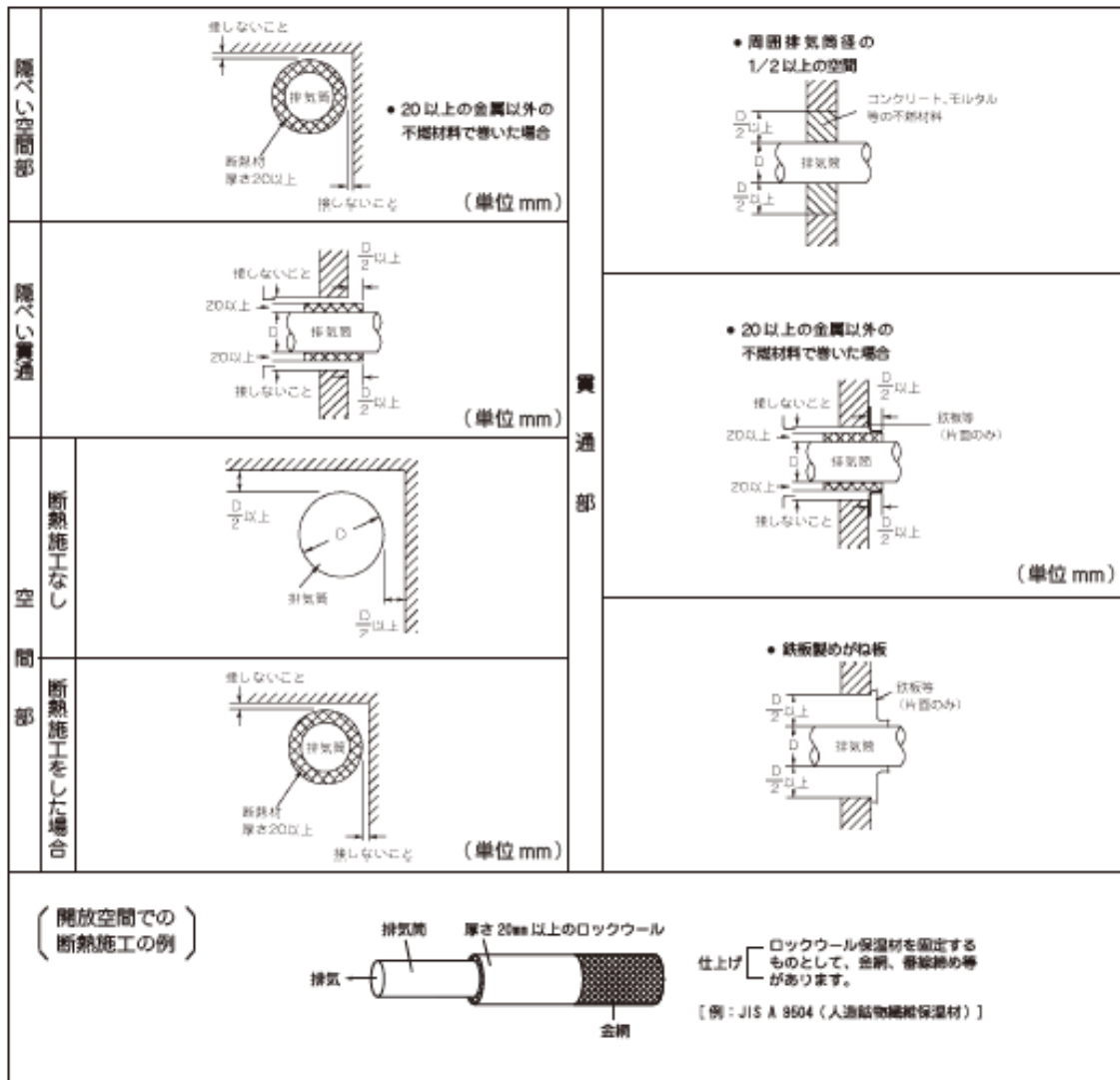
ご注意

●集合ダクトの場合、乾燥機からの排気筒を主排気筒に接続するときは、出口方向への排気がスムーズにできるよう、約45度傾ける等の配慮をしてください。（直角に接続すると排気が妨げられます。）



③開放空間及び隠ぺい部（天井裏、床下等）における排気筒の仕上げ

- 排気筒と「可燃材料、難燃材料、または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離は排気筒の直径の1/2以上とした上ですき間をコンクリート、モルタル等の不燃材料でうめるかまたはコンクリート製めがね石、断熱材巻き鉄板製めがね板などを防火上支障がないように処置してください。
 - 天井裏等の隠ぺい部分に排気筒を設置する場合は、接続部を排気漏れのない構造とし、堅固に接続するとともに、金属以外の不燃材料で覆ってください。
- (図 - 12)



「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会発行）による

図 - 12 開放空間及び隠ぺい部における排気筒の仕上げ方法

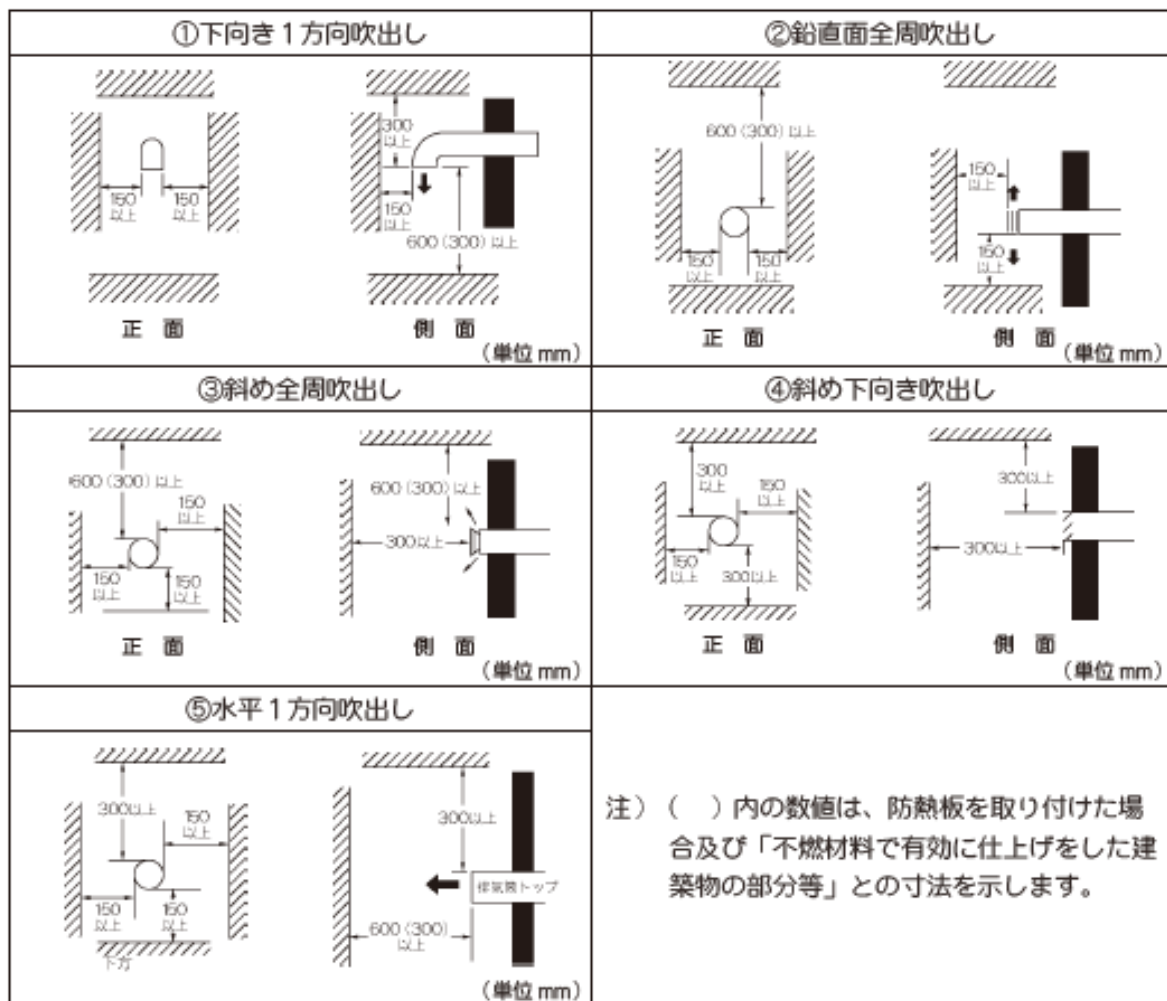
④排気筒トップ

- 排気筒頂部に風雨に対して有効な排気筒トップを取り付けさらに逆流防止のためできるだけ風圧帯範囲外に設置してください。
- 排気筒の先端に金網を取り付けると細かい綿ぼこりが蓄積して、風路が妨げられ、排気不良を起こしたり乾燥不良の原因となりますので行わないでください。
- 風の強く吹き込む所、通路、人通りのある所、屋内、床下などに排気口を向けないようにしてください。
- 排気の臭い、音、風などによってご近所に迷惑のかからないようにしてください。
- 排気筒トップは水洗用乾燥機以外の共用排気筒などに接続しないでください。

△注意

火災事故防止のため乾燥機排気口の周囲 60cm、吹出方向 60cm の範囲内に可燃物が無いようにしてください。
(図 - 13)

- 排気吹出口周囲の「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」とは図 - 13 に従って離隔距離をとってください。



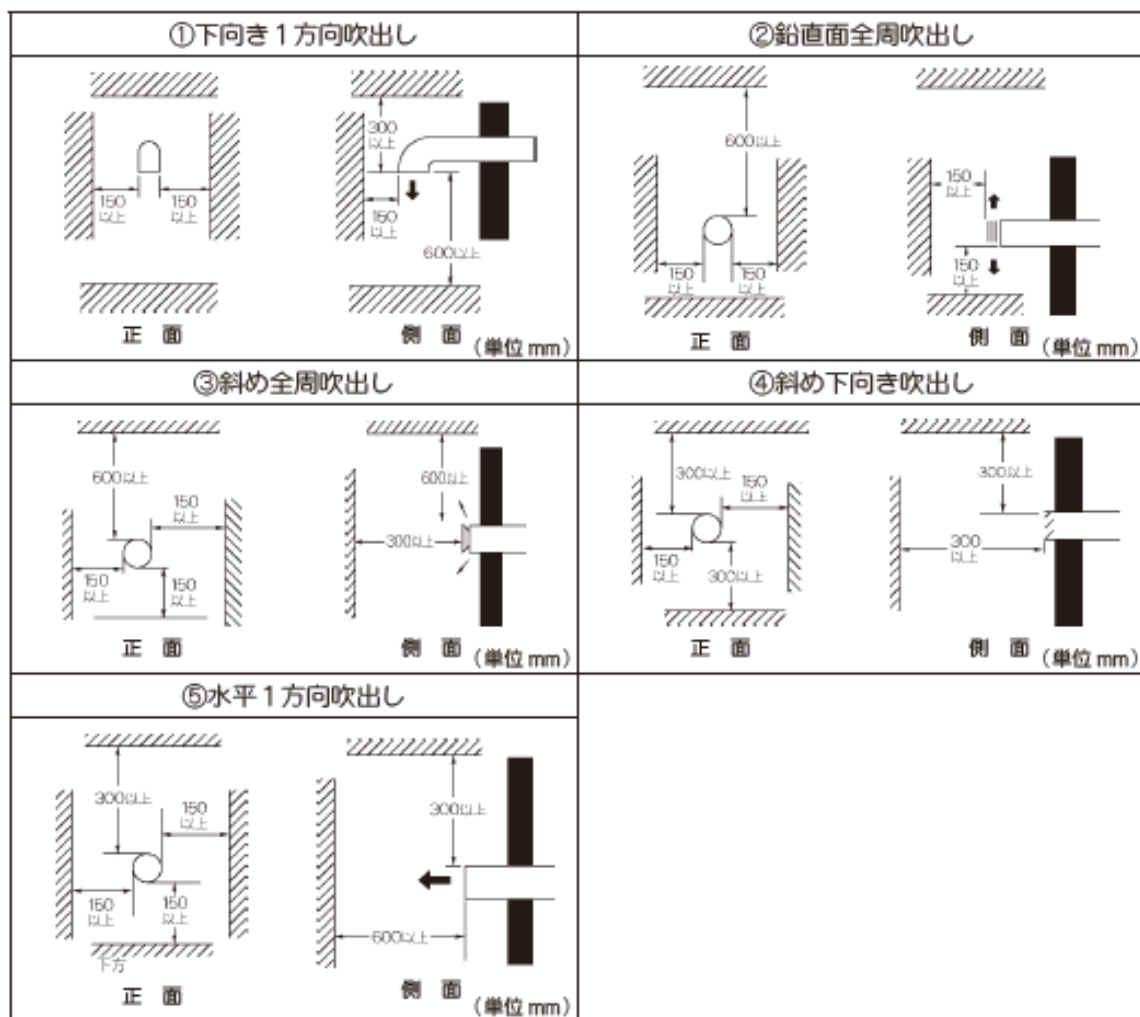
「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」(一般財団法人日本ガス機器検査協会発行)による

図 - 13 排気筒トップ周辺の離隔距離

⑤排気吹出し口と建物開口部との離隔距離

- 排気吹出口を決める際には図 - 14 に従って排気吹出口周辺に燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部（乾燥機を使用する際に開ける窓やド

ア、及び常時開放されている換気口など）が無いようにしてください。



「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会発行）による

図 - 14 排気吹出口と建物開口部との離隔距離のとり方の例

- 排気吹出口の上方に有効な遮へい物を設けた場合、建物開口部との離隔距離は図 - 15 に従ってください。

(鉛直面全周の場合)

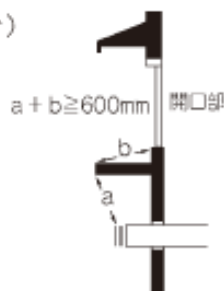

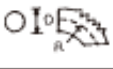
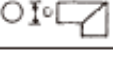



図 - 15 上方に有効な遮へい物を設けた場合の離隔距離の例

⑥排気筒長さの計算

- 曲折部および先端は表-8から直管相当長さに換算し加算します。
- 直管はそのままの長さを加算します。

表-8 曲管等の換算表

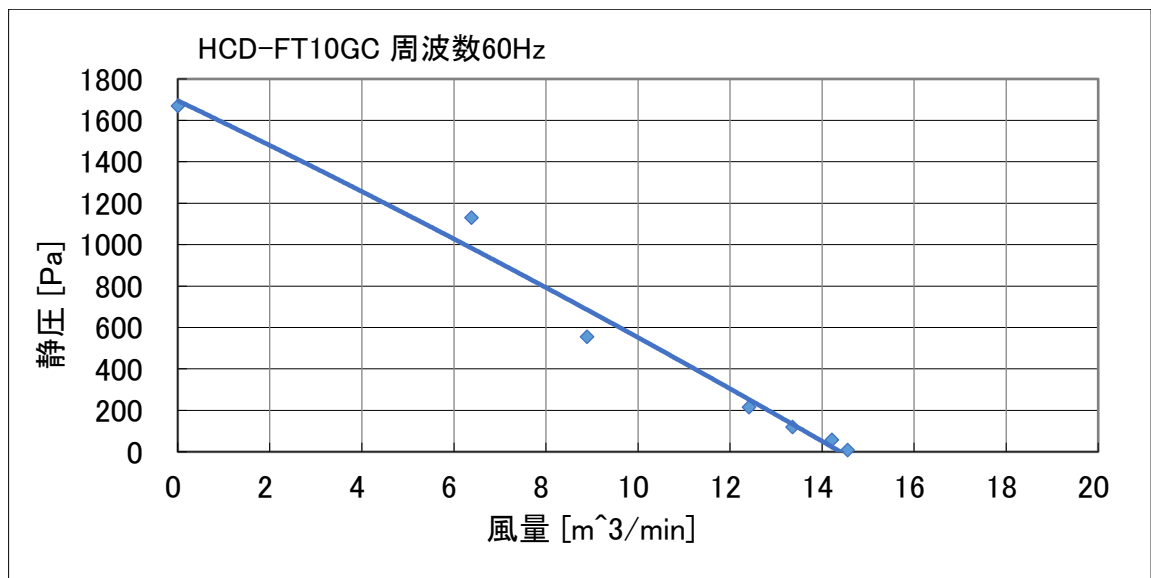
	形 状	条 件	等値の直管の長さ
円形の曲管		$\frac{R}{D} = 1$ $= 1.5$ $= 2$	2.6 m 1.8 m 1.5 m
円形でジャバラの曲管		$\frac{R}{D} = 1$ $= 1.5$ $= 2$	6 m 4.5 m 3.5 m
円形折継ぎ			8 m
ベントトップ (H型)(障笠)			2 m

計算例

- 横引き2m、立上り3m、 $\frac{R}{D}=2$ の円形でジャバラの曲管2個、H型ベントトップをつけたときの計算長さは
 $2+3+(3.5 \times 2)+2=14m$

参考

排気筒の静圧を測定して排気風量を換算する場合は下図のP-Q線図をご利用ください。



6 その他

- ガス乾燥機を設置する場合には消防機関に届出を行ってください。なお、自治体によっては届出の範囲は異なりますので詳しくは各自治体の消防機関に確認してください。
- 消防条例に基づき、乾燥機設置場所には消火器を設置してください。
- 乾燥機を設置する部屋には建物の形態によってはガス漏れ（火災）警報設備またはガス漏れ警報器等の設置が必要です。設置方法、設置場所等詳細については「業務用ガス機器の設置基準及び実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会発行）

に従ってください。

- 使用方法、取扱注意等を判りやすく、お客様の見やすい位置にポスター、掲示物等に表示してください。